

# ACP導入研修 (応用編②)

とよひら・りんく

“りんく塾”

2018.1.29

# ACP導入研修 (応用編②)

1. アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは.
2. “りんく塾”開講の目的.
3. 療養上の希望を共有する. →ロールプレイ
4. 研修のまとめと今後の計画.

《コミュニケーションスキルの向上》

《ACPファシリテーターの育成》

# アドバンス・ケア・プランニング

## Advance Care Planning(ACP) : 定義

- 今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセス
  - 患者が望めば、家族や友人とともに行われる
  - 患者が同意のもと、話し合いの結果が記述され、定期的に見直され、ケアにかかわる人々の間で共有されることが望ましい
  - ACPの話し合いは以下の内容を含む
    - 患者本人の気がかりや意向
    - 患者の価値観や目標
    - 病状や予後の理解
    - 治療や療養に関する意向や選好、その提供体制

<http://www.ncpc.org.uk/sites/default/files/AdvanceCarePlanning.pdf>

Education For Implementing End-of-Life Discussion

# アドバンス・ケア・プランニング (ACP)



*Advance Care Planning: A Guide for Health and Social Care Staff. National End of Life Care Programme, Web site. Available at: [http://www.endoflifecareforadults.nhs.uk/assets/downloads/pubs\\_Advance\\_Care\\_Planning\\_guide.pdf](http://www.endoflifecareforadults.nhs.uk/assets/downloads/pubs_Advance_Care_Planning_guide.pdf) . Accessed August 9, 2010*

Education For Implementing End-of-Life Discussion

# これからの治療・ケアに関する話し合い

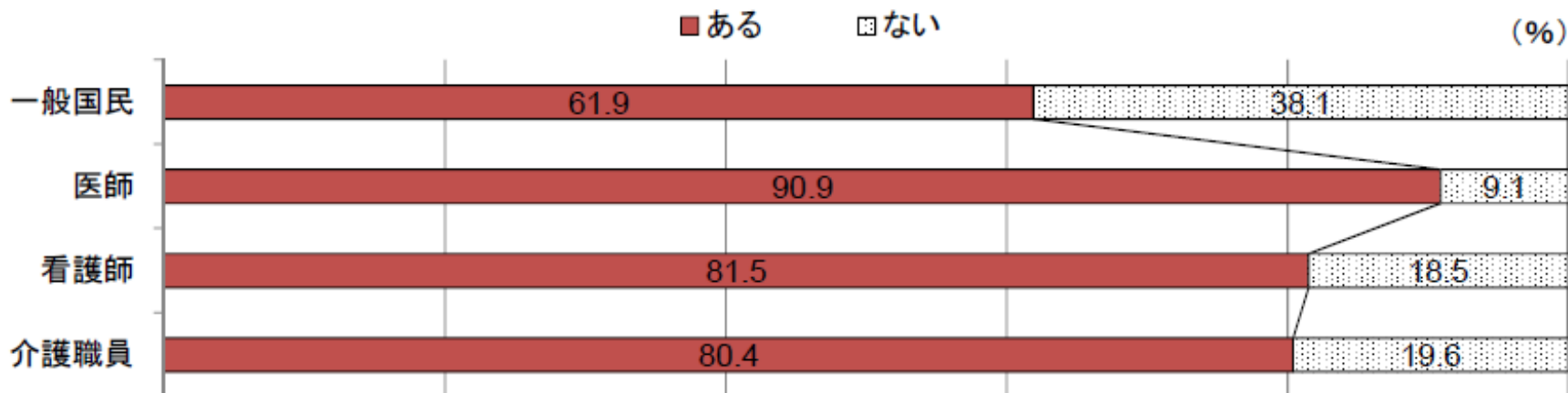
## アドバンス・ケア・プランニング

- 万が一のときに備えて、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたり、あなたの信頼する人たちと話し合ったりすること
- 話し合いは、もしもの時にあなたの信頼する人があなたの代わりに治療やケアについて難しい決断をする場合に重要な助けとなります

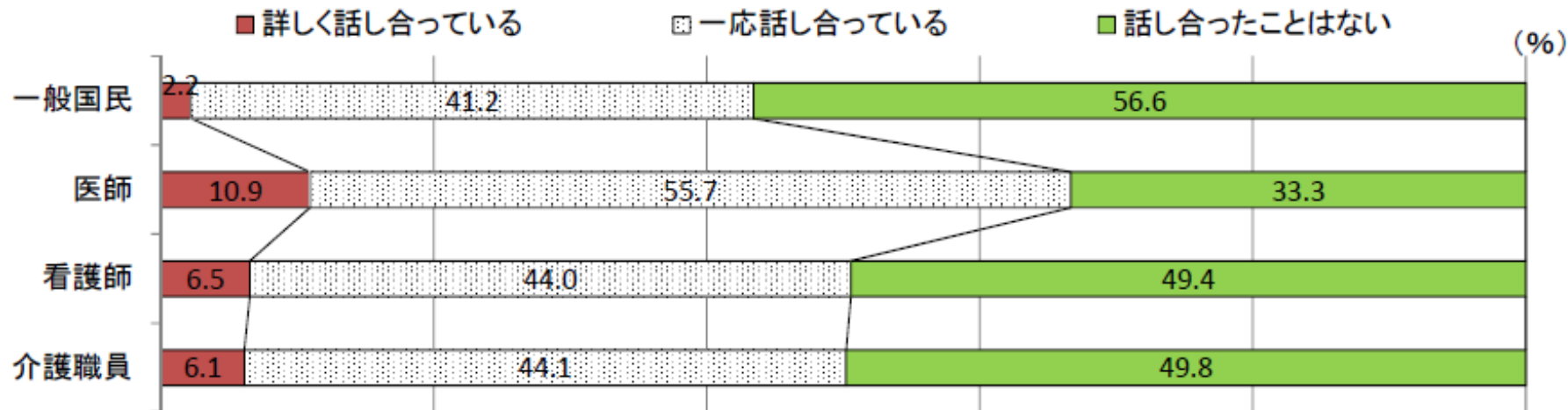
# I-1 人生の最終段階における医療に関する関心①

平成29年度  
一般国民票

## ■ 人生の最終段階における医療・療養についてこれまでに考えたことがあるものの割合

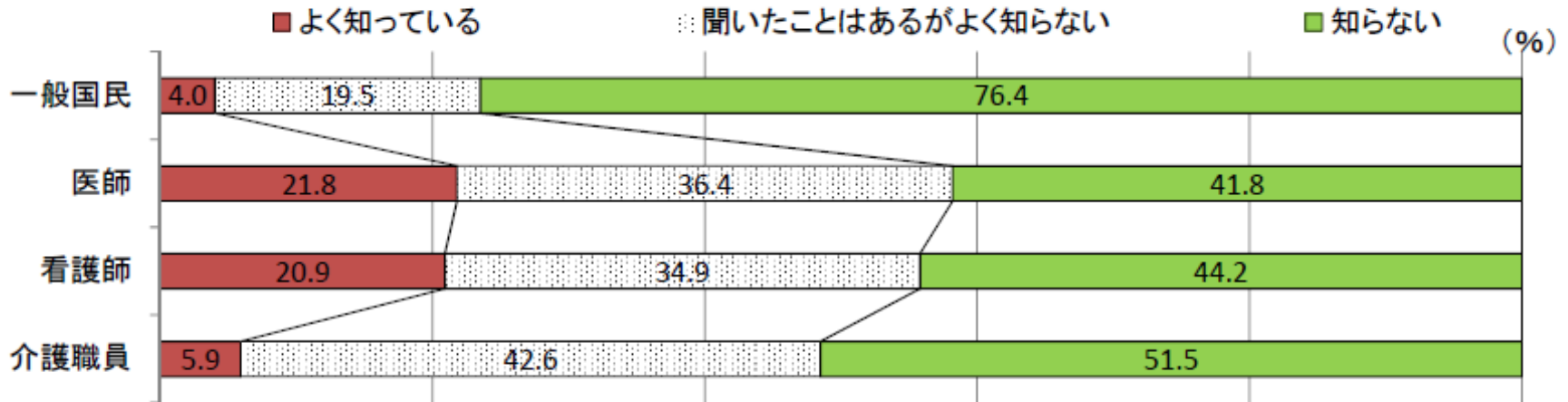


## ■ 人生の最終段階における医療・療養についてこれまでに話し合ったことがあるものの割合

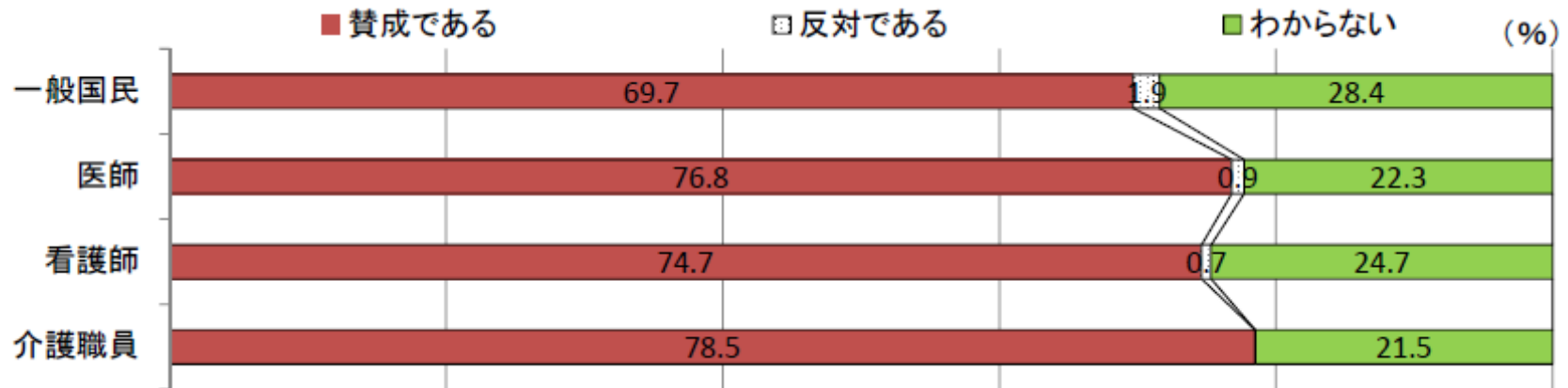


# I-6 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について

■ 人生の最終段階の医療・療養について、意思に沿った医療・療養を受けるために、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)についての認知度

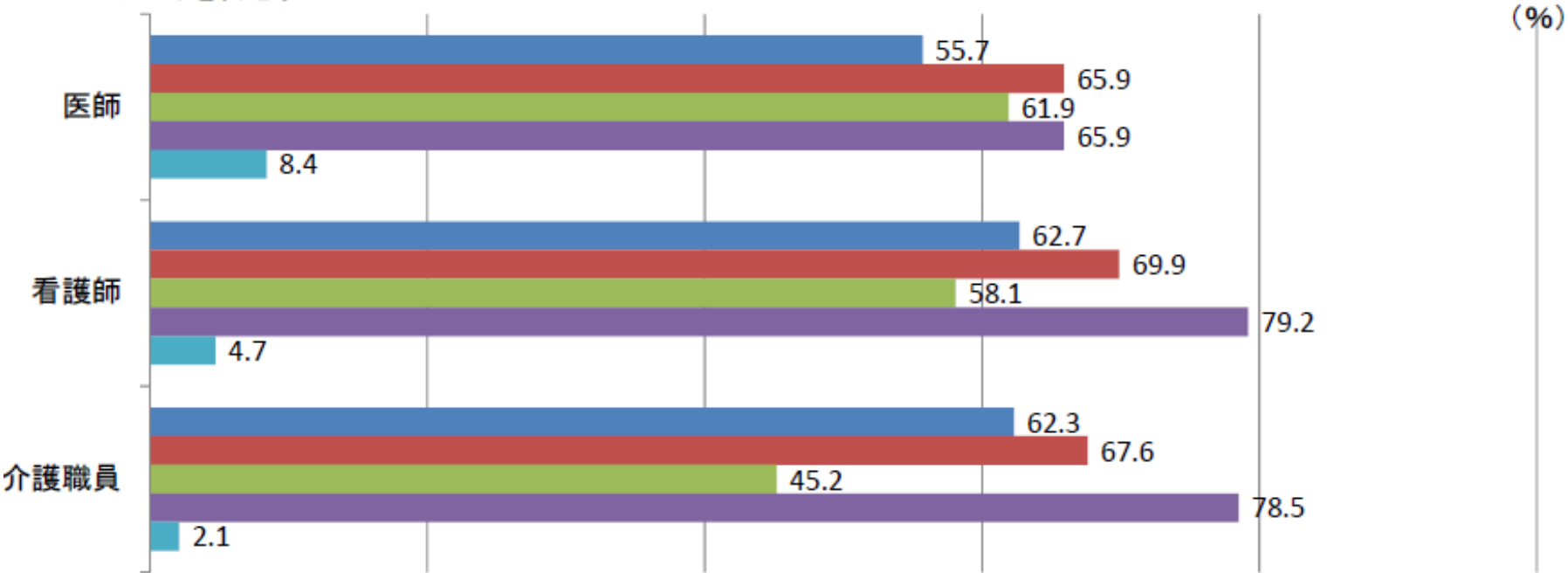


■ アドバンス・ケア・プランニング<ACP>についての賛否



## Ⅱ-9 人生の最終段階における医療の充実に必要なこと

■ 本人の意向を尊重した人生の最終段階における医療の充実にために、必要だと思うこと（複数回答）  
 ※「家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人、知人）を含む。



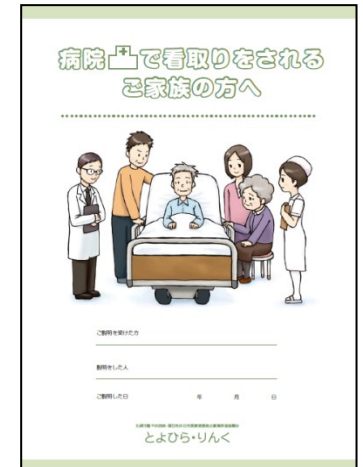
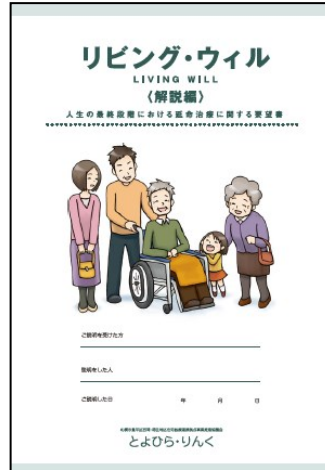
- 医療・介護従事者への教育・研修
- 本人・家族等への相談体制の充実
- 疾病の有無に関わらず、人生の最終段階における医療について考えるための情報提供
- 人生の最終段階について話し合った内容について、本人・家族等や医療・介護従事者等の看取りに携わる関係者との共有の仕方



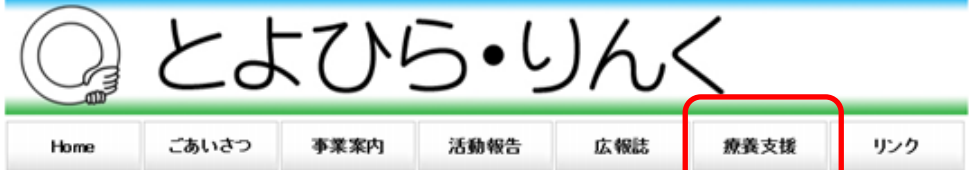
## 今後の政策などとの関係(参考)

- 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」:平成30年3月に改訂予定で検討がされている.
- 平成30年4月、診療報酬・介護報酬改定において本ガイドラインをもちいた説明などが検討されている.

# 冊子のご案内



札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



とよひら・りんく

**療養支援ページに公開**

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会(通称「とよひら・りんく」)は、平成23年6月、札幌市豊平区西岡・福住地区において、地域の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士などの多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すとともに、今後の在宅医療に関する政策立案や均てん化などに資することを目的に設立されました。

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援
3. 効率的な医療提供のための多職種連携
4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
5. 在宅医療に従事する人材育成

とよひら・りんくホームページ

<http://www.toyohiralink.jp/>

# ACP導入研修 (応用編②)

1. アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは.
2. “りんく塾”開講の目的.
3. 療養上の希望を共有する. →ロールプレイ
4. 研修のまとめと今後の計画.

《コミュニケーションスキルの向上》

《ACPファシリテーターの育成》

# 目的

これまでの生活を振り返り、今後の人生、生活、医療／介護  
について話し合うことができる。

- 1. 現状を共有する。
- 2. 話し合いを導入する。
- 3. これまでの生活を振り返る。
- 4. 療養や生活での不安や疑問を確かめる。
- 5. 療養や治療での希望(本人、代理決定者)を尋ねる。
- 6. 多職種で共有する。

# りんく塾の考え方

りんく塾

- ・ファシリテーターの養成
- ・研修教材の提供

研修会開催

○病院

△施設

部署研修会

●病棟

▲病棟

◎部署

※部署

ーポイントー

1. 同じ研修教材で研修を進める.
2. 話し合うことの重要性は医療介護従事者の多くが理解をしている.
3. 地域で一斉の取り組む.



とよひら・りんく

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会(通称「とよひら・りんく」)は、札幌市豊平区西岡・福住地区において、地域の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、介護士などによる包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すとともに、今後の在宅医療の発展に資することを目的に設立されました。

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援
3. 効率的な医療提供のための多職種連携
4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
5. 在宅医療に従事する人材育成

- 訪問薬剤指導
- 主治医意見書関連
- ご自宅でご家族を看取られる方へ
- 人生の最終段階における医療
- ACP相談シート
- ACP導入研修

## ロールプレイトレーニング(例①) (介護施設編)

- Aさん(80代・男性)。
- アルツハイマー型認知症で在宅生活中であった(要介護2/デイサービス利用)。
- 誤嚥性肺炎にて入院。ADL全介助(要介護5)となった。
- 主治医より嚥下機能は低下してきていると説明を受けている。
- 退院後、近隣の特別養護老人ホームに入所。

## ACP導入研修 (初級編)

1. アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは。
2. “りんく塾”開講の目的。
3. ロールプレイトレーニング。

《コミュニケーションスキルの向上》

《ACPファシリテーターの育成》



シルバーハイツ羊ヶ丘1.2番館での研修会

# ACP導入研修 (応用編②)

1. アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは.
2. “りんく塾”開講の目的.
3. 療養上の希望を共有する. →ロールプレイ
4. 研修のまとめと今後の計画.

《コミュニケーションスキルの向上》

《ACPファシリテーターの育成》

# [思い] ≠ [意向]

- 意向表出の背景を知る。
- 「患者にどうあってほしいか」について知る。
- ケアの主体として、どのような将来をイメージしているかについて知る。
- 意向の表出の際、どのような感情の葛藤があったのかについて知る。
- その上で、[思い]と[意向]の両者を尊重する。



# 目的

これまでの生活を振り返り、今後の人生、生活、医療／介護  
について話し合うことができる。

- 1. 現状を共有する。
- 2. 話し合いを導入する。
- 3. これまでの生活を振り返る。
- 4. 療養や生活での不安や疑問を確かめる。
- 5. 療養や治療での希望(本人、代理決定者)を尋ねる。
- 6. 多職種で共有する。

# ロールプレイ時の留意点

- 退院後の相談の場面です。
- ご本人、ご家族の想いを確認しましょう。
- 入院生活のこと、今後のこと、療養上の不安などをお聞きしましょう。

# ロールプレイトレーニング（例①） （介護施設編）

- Aさん（80代・女性）. ご家族と共に入所相談に来所.
- 右脳梗塞にてA脳神経外科病院へ入院.
- 右半身に軽度の麻痺が残存しているものの、言語機能、嚥下機能に問題はない.
- ADL低下に不安があり、A脳神経外科病院主治医からも継続リハビリの必要性を言われている.
- 本人は脳梗塞の再発を気にしつつも、リハビリへの意欲は低い.

# ロールプレイトレーニング（例②） （介護事業所編）

- Aさん（80代・女性）. ご家族と共に在宅支援の相談.
- 右脳梗塞にてA脳神経外科病院へ入院.
- 右半身に軽度の麻痺が残存しているものの、言語機能、嚥下機能に問題はない.
- ADL低下に不安があり、A脳神経外科病院主治医からも継続リハビリの必要性を言われている.
- 本人は脳梗塞の再発を気にしつつも、リハビリへの意欲は低い.

# ロールプレイトレーニング(例③)

## (医療機関・調剤薬局編)

- Aさん(80代・女性). ご家族と共に外来受診時の相談.
- 右脳梗塞にてA脳神経外科病院へ入院.
- 右半身に軽度の麻痺が残存しているものの、言語機能、嚥下機能に問題はない.
- ADL低下に不安があり、A脳神経外科病院主治医からも継続リハビリの必要性を言われている.
- 本人は脳梗塞の再発を気にしつつも、リハビリへの意欲は低い.

# ロールプレイ

- 4人1組になります。
- 相談役、ご本人役、ご家族役、観察役を決めてください。
- ご家族役は(妻・長男・長女)で自由に選択してください。
- ご家族役は時間内は役を演じてください。
- 演じる準備(1分)、ロールプレイ(5分)、振り返り(5分)

# 振り返り

これまでの生活を振り返り、今後の人生、生活、医療／介護  
について話し合うことができる。

- 「入院生活のこと、今後のこと、療養上の不安など」聞くことができましたか。
- 本研修を振り返り、話し合いで難しかったこと、感想や今後の課題などを自由に話し合ってみましょう。

# ACP導入研修 (応用編②)

1. アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは.
2. “りんく塾”開講の目的.
3. 療養上の希望を共有する. →ロールプレイ
4. 研修のまとめと今後の計画.

《コミュニケーションスキルの向上》

《ACPファシリテーターの育成》



# 目標

- あなたの施設で人生の最終段階における医療に関する意思決定支援を実施していくにはどのような課題があるだろうか？
- 課題をもとに本年度と来年度の目標を明らかにする
- 目標達成のためにどのような手段を取ったらよいかを話し合う

# 意思決定支援を進めていくには どうしたらよいだろうか？

- あなたの施設で人生の最終段階における医療に関する意思決定支援を実施していくにはどのような課題があるだろうか？

# 課題の解決方法

課題	解決方法(5W1H)